

2022年4月4日

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、令和4年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体のご協力をいただき、踏切事故の防止を図るため4月6日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや車の発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。



駅構内でのデジタルサイネージ等による呼びかけ

■実施期間

2022年4月6日(水)から4月15日(金)までの10日間

■実施内容

- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
 - ・ 車内放送による呼びかけ
 - ・ 道内のガソリンスタンド（47箇所）及び駅レンタカー営業所（21箇所）をご利用になるドライバーへの呼びかけ
 - ・ 小学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ
 - ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問しての呼びかけ
 - ・ ラジオCMの放送
 - ・ 駅構内におけるデジタルサイネージ等での踏切事故防止の呼びかけ（札幌駅他12駅）
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数の方と接触する駅構内・踏切等での対面による啓発活動は中止します。

<踏切事故の概況>

2021年度、JR北海道における踏切事故は3件発生し、前年度と比較すると2件増加となっています。発生した踏切事故の内1件は、踏切警報機やしゃ断機の設置されていない踏切で、公衆が列車の接近中に踏切内へ進入し、列車と衝撃しています。

また、踏切事故には至っていませんが、車の直前横断や立ち往生、非常ボタンの動作などで列車が緊急停止した事象は、2021年度は411件発生しています。